

飯塚市史 構成 下巻

第六編 宗 教

第一章 神社・寺院・教会

第一節 神社

- 一 飯塚・菰田・立岩・三緒地区
- 二 鯉田・幸袋地区
- 三 二瀬・片島・鎮西地区
- 四 穂波地区
- 五 庄内地区
- 六 筑穂地区
- 七 穎田地区

第二節 寺院

- 一 天台宗
- 二 真言宗
- 三 浄土宗
- 四 浄土真宗
- 五 曹洞宗
- 六 日蓮宗
- 七 日蓮正宗
- 八 単立宗教法人

第三節 幕末から明治の新宗教

- 一 天理教
- 二 金光教

第四節 戦後に広がった日本新宗教

- 一 創価学会
- 二 立正佼成会
- 三 パーフェクトリバティーン教団

第五節 キリスト教

- 一 明治時代のキリスト教
- 二 飯塚市内のキリスト教
- 三 キリスト教徒の墓

第二章 宗教小史

第一節 神道と仏教

- 一 神道

- 二 仏教の公伝
- 三 神仏習合
- 四 江戸時代の神道・仏教
- 五 明治時代以降の宗教政策
- 六 戦後の宗教政策

第七編 民 俗

はじめに、民俗とは

第一章 マチ・ムラ・炭鉱の暮らし

第一節 地域の概要

第二節 地域の伝承

- 一 市内の伝承
- 二 マチ・ムラの伝承

第二節 ムラ・マチの暮らし

- 一 ムラ・マチの仕組み
- 二 諸集団
- 三 日常の暮らし

第三節 炭鉱とマチ・ムラ

- 一 炭鉱と炭鉱の暮らし
- 二 炭鉱とマチ・ムラの交流

第二章 イエの暮らし

第一節 明治以後の家（イエ）制度

- 一 戸籍制度の変遷
- 二 家族・親族・他人の呼称

第二節 家族員の地位と役割

- 一 イエの中の家族の地位
- 二 隠居・分家慣行
- 三 相続慣行
- 四 養子慣行
- 五 分家慣行
- 六 本・分家・姻族との親類関係
- 七 擬制的親子・兄弟

第三章 生業

第一節 農業

- 一 耕地の種類と利用
- 二 水利
- 三 水田耕作
- 四 農耕儀礼
- 五 畑作
- 六 家畜と肥料
- 七 農家の副業

第二節 林業

第三節 交通・運輸

- 一 交通
- 二 運搬

第四節 商業

- 一 行商
- 二 市場
- 三 商店街とムラの店
- 四 諸職
- 五 金融
- 六 炭鉱の仕事

第四章 衣食住

第一節 衣

- 一 衣服
- 二 髪型・装身具
- 三 雨具・日除け・履物
- 四 裁縫・洗濯・染色・保存

第二節 食

- 一 食物
- 二 食事

第三節 住

- 一 住居
- 二 建築
- 三 燃料
- 四 照明

第五章 人生儀礼

第一節 出産と育児

- 一 妊娠
- 二 出産
- 三 生児
- 四 生育

第二節 結婚

- 一 縁談成立まで
- 二 結婚式

第三節 厄年と年祝い

第四節 葬送

- 一 死と死後の役割
- 二 葬式
- 三 死後の供養

第六章 信仰伝承

第一節 ムラの祭り

- 一 ムラの神社と祭り
- 二 お潮井採り

第二節 クミの信仰と祭り

- 一 信仰にかかわる集会
- 二 組・個人の諸神仏信仰
- 三 忘れられていく神仏

第三節 祭りの芸能

第四節 家内の神々

第五節 産業・職業の神仏と祭り

第六節 共同祈願と個人祈願

- 一 共同祈願
- 二 諸寺巡拝
- 三 個人祈願
- 四 民間宗教者

第七節 絵馬

- 一 絵馬とは何か
- 二 飯塚市内の絵馬の概観

第七章 石塔・石碑

第一節 神仏の石塔

- 一 宝篋印塔
- 二 庚申塔
- 三 青面金剛塔
- 四 猿田彦大神塔
- 五 庚申諸塔
- 六 塞神
- 七 道祖神
- 八 梵字
- 九 帝釈天
- 一〇 大日如来
- 一一 大行事
- 一二 五穀神
- 一三 諸神・諸仏

第二節 供養・慰霊・記念などの塔碑

- 一 一字一石塔
- 二 三界萬霊塔
- 三 慰霊塔・碑
- 四 古墓
- 五 産婆・力士の墓碑
- 六 記念碑
- 七 三味線墓の人々
- 八 単独塔碑
- 九 「ウハッキュウ」について
- 一〇 筒野五智如来三連塔
- 一一 道標

第八章 年中行事

第一節 正月の準備

- 一 ムラの行事
- 二 イエの行事

第二節 一月の行事

- 一 元日
- 二 松の内

第三節 二月の行事

第四節 三月の行事

第五節 四月の行事

第六節 五月の行事

第七節 六月の行事

第八節 七月の行事

一 一般の行事

二 飯塚市内の祇園祭

第九節 八月の行事

一 一般の行事

二 盆行事

第一〇節 九月の行事

第一一節 一〇月の行事

第一二節 十一月の行事

第一三節 十二月の行事

第一四節 八木山小学校の地域に学ぶ民俗学習

第九章 口頭伝承

第一節 昔話

第二節 伝説

第三節 神仏の功德

第四節 笑い話

第五節 世間話

第六節 妖怪と幽霊

一 妖怪

二 火の玉

三 幽霊

第七節 民謡

一 盆踊り歌

二 子守唄

三 わらべ歌

四 仕事歌

五 電気礼賛の歌

第八節 方言

第一〇章 競技・娯楽・俗信・民間療法

第一節 競技と娯楽

一 競技

二 相撲

- 三 野球
- 第二節 大人の娯楽と子どもの遊び
 - 一 大人の娯楽
 - 二 子どもの遊び
- 第三節 禁忌
 - 一 家族の禁忌
 - 二 屋敷内に植えてはならない植物
 - 三 一般の忌み
- 第四節 占いとまじない
 - 一 占い
 - 二 まじない
- 第五節 予兆
- 第六節 ことわざ
- 第七節 民間療法
 - 一 植物
 - 二 動物
 - 三 神仏への祈願

第一一章 戦争の戦場と銃後

- 第一節 中国戦場の戦い
 - 一 はじめに
 - 二 戦場の戦い
 - 三 戦場の実態
 - 四 戦場の暮らしと敗戦・帰還
- 第二節 銃後の暮らし

第八編 現在の飯塚

第一章 飯塚市の姿

- 第一節 位置と面積
 - 一 位置
 - 二 面積
- 第二節 山岳と河川
 - 一 山岳
 - 二 河川
- 第三節 気候

- 一 福岡県の気候
- 二 筑豊地方の気候
- 三 飯塚特別地域気象観測所
- 四 飯塚気象観測所の記録

第四節 人口

- 一 飯塚市の人口
- 二 四町の人口
- 三 年齢階層別人口
- 四 産業大分類別就業者数

第二章 行政・自治

第一節 行財政

- 一 行政
- 二 財政

第二節 議会・選挙

- 一 議会
- 二 選挙

第三章 産業

第一節 農業・畜産

- 一 農業の概要
- 二 農業行政
- 三 農業生産
- 四 農業施策
- 五 畜産
- 六 農業団体・組織

第二節 林業・水産業（内水面）

- 一 林業
- 二 水産業（内水面）

第三節 商工業・観光

- 一 商工業
- 二 観光

第四章 都市環境

第一節 市・町の構築

- 一 土木・建設

- 二 住宅・公園・緑地
- 第二節 交通・金融・通信
 - 一 交通
 - 二 金融
 - 三 通信とエネルギー

第五章 生活環境

- 第一節 治安・消防・防災
 - 一 治安
 - 二 消防
 - 三 防災と災害
- 第二節 厚生・福祉
 - 一 厚生事業
 - 二 医療制度
 - 三 福祉事業
 - 四 福祉団体と施設
 - 五 介護保険制度の導入
- 第三節 保健・医療
 - 一 保健
 - 二 医療
- 第四節 衛生・環境
 - 一 上水道・汚水処理
 - 二 塵芥処理
 - 三 環境保護
 - 四 墓地・葬祭

第六章 教育・文化

- 第一節 教育
 - 一 教育制度と教育行政
 - 二 学校教育
 - 三 社会教育
 - 四 社会体育
- 第二節 文化
 - 一 文化教育の概要
 - 二 関係団体
 - 三 主な文化財

第七章 人権

第一節 旧一市四町の取組み

- 一 飯塚市
- 二 穂波町
- 三 筑穂町
- 四 庄内町
- 五 穎田町

第二節 合併後の取組み